

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 15 日 (2009.1.15)

【公表番号】特表 2007-526659 (P2007-526659A)
 【公表日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-035
 【出願番号】特願 2006-515143 (P2006-515143)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/45 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/45

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 11 月 21 日 (2008.11.21)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ビデオ・ストリームと第 2 ビデオ・ストリームとのピクチャ・イン・ピクチャ表現用のメディア再生装置において、

前記第 1 ビデオ・ストリーム及び前記第 2 ビデオ・ストリームを受信するように構成されたメディア・インタフェースであって、前記第 1 ビデオ・ストリームが第 1 データに関連し、前記第 2 ビデオ・ストリームが第 2 データに関連する少なくとも 1 つのメディア・インタフェースと；

前記第 1 データ及び前記第 2 データを得るように構成され、さらに、前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現における前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの相対オフセットを示す前記第 1 データ及び前記第 2 データを用いて、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を同期させるように構成され、さらに、前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現の期間中に、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの間の前記相対オフセットを維持するように構成されたプロセッサと
を具備していることを特徴とするメディア再生装置。

【請求項 2】

前記第 1 ビデオ・ストリームが前記第 1 データを含み、前記第 2 ビデオ・ストリームが前記第 2 データを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 3】

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を構成するための制御データが、前記メディア再生装置内のファイル中に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 4】

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を構成するための制御データが、前記メディア再生装置外の情報源中に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置

。

【請求項 5】

前記第 1 データ及び前記第 2 データがメタデータであることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 6】

前記プロセッサがさらに、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとを同期を維持する速度で進行させることによって、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を同期させるように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 7】

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を構成するための制御データが、前記第 2 ビデオ・ストリーム中に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 8】

前記プロセッサが、前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現における前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの前記相対オフセットを決定するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア再生装置。

【請求項 9】

メディア再生装置によって使用される方法であって、第 1 ビデオ・ストリームと第 2 ビデオ・ストリームとのピクチャ・イン・ピクチャ表現を行う方法において、

前記第 1 ビデオ・ストリームを受信するステップであって、前記第 1 ビデオ・ストリームが第 1 データに関連するステップと；

前記第 2 ビデオ・ストリームを受信するステップであって、前記第 2 ビデオ・ストリームが第 2 データに関連するステップと；

前記第 1 データ及び前記第 2 データを得るステップと；

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現における前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの相対オフセットを示す前記第 1 データ及び前記第 2 データを用いて、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を同期させるステップと；

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現の期間中に、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの間の前記相対オフセットを維持するステップと
を具備していることを特徴とするビデオ・ストリームのピクチャ・イン・ピクチャ表方法。

【請求項 10】

前記第 1 ビデオ・ストリームが前記第 1 データを含み、前記第 2 ビデオ・ストリームが前記第 2 データを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を構成するための制御データが、前記メディア再生装置内のファイル中に配置されていることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を構成するための制御データが、前記メディア再生装置外の情報源中に配置されている特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 1 データ及び前記第 2 データがメタデータであることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現を同期させるステップが、前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとを同期を維持する速度で進行させることを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

さらに、前記ピクチャ・イン・ピクチャ表現における前記第 1 ビデオ・ストリームと前記第 2 ビデオ・ストリームとの相対オフセットを決定するステップを具備していることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

２．一般的背景及び従来技術

インタラクティブ（対話的）マルチメディアは、ユーザが利用可能な多種多様なマルチメディア・リソースを調べ上げることによって、主題をより十分に鑑賞することをもたらす。インタラクティブ・マルチメディアは、テキスト（文字列）、オーディオ、グラフィック、静止画像、及び動画を統合して単一のコンピュータ制御のマルチメディア製品にすることを含む。インタラクティブ・マルチメディアへの望みは、これらのプログラム用のデータ記憶の増加と共に成長してきた。